群馬工業高等専門学校			開講年度	令和04年度 (2	 2022年度)	授業科目	工学実験			
科目基礎		<u> </u>	אַרו צּוּענותן	134001112 (2	1022 102)					
科目番号 4E019					科目区分	専門 / 必	修			
授業形態		実験・実習			単位の種別と単位		履修単位: 4			
開設学科電子メディ					対象学年	4	4			
開設期通年					週時間数 4					
教科書/教材 社		・「新編電社・「新編 社・「新編原功・木村	・「新編電気工学講座 30 電気・電子工学実験(1) -基礎編-」, 山田十一・永井真茂・小林祥男・多田泰芳 著,コロナ 社・「新編電気工学講座 31 電気・電子工学実験(2) -電気機器・高電圧編-」, 池本徹三・今西周蔵・岡田新之助・河 京功・木村伊一 著, コロナ社・プリント・WEB教材							
担当教員		電子メディ	プログラス 日本							
到達目標	Ē									
)および電 □ 工学の □ 正しい □ 各実験 □ 工学の	電子通信情報の基礎的実験の い報告書が「 験項目に関する機器 で関する機器	段関係の各種詞 験手法を実演 作成できる。 する知識やエ	€験を行うことで、 できる。	機、電動機、ロボッ 以下の授業目標を び報告書を作成する 得できる。	達成する。	ギ-変換機、制御	印機器など			
ルーブリ	リック						1			
					標準的な到達レイ		未到達レベルの目安			
実験内容に関する理解			手順書と教員の指導に従って,実験を自主的に,的確に進めることができる.		適宜, 教員の指導を仰ぐことで指示書に書いてある内容を進めることができる.		指示書の実験内容を進めることが できない.			
レポートに	関する項目	1	実施した実験に関する報告書を自分の言葉で的確にまとめることができる.			関して, 最低限の てまとめることが				
学科の到達目標項目との関係										
教育方法等										
概要		な的・・・・・ 実電測電各そ2験)を実 の験気定気種の~をに必験 で手お器配機他4始し要の はがしました。	電気・電子・通信・情報工学実験実習は電気・電子等の工学の知識を確実なものにし、その理論の確証に 役立ち、その技術を身につけたものにするという意味において、電気・電子工学を学ぶ者にとってその習得はたいへん重要なものである。そのうえ、各種実験を行うことで、正しい実験態度が養成され、実験の一般的知識を学び、工学の基礎的実験手法を幅広く身につけ、報告書作成能力を習得できる。直接的には次のようなことを学ぶ。・電気および機械的諸量の測定法・測定器具類や各種の機器および施設設備の取り扱い方や試験法・電気配線の実施要領・各種機器の構造と特性の理解・その他、実験実習に必要な事がら。2~4名を単位とした班編成を行い、2週1テーマを原則として、実験課題ごとに担当教官が定められているので、実験を始める前に課題について担当教官から説明を受け、内容をよく理解した後、実験指導書(実験の教科書やプリント)にしたがって実験を実施する。実験後、担当教官の指示にしたがって、報告書を提出する。提出期限は厳守することを必要とする。実験は電磁基礎実験、強電実験、および電子・通信・情報(工学)実験からなる。実験の前に課題や実験の諸注意などの説明を行う。また、実験の総まとめ、文献調査、報告書作成(構成や文章表現等)指導や整理なども実施し、実験実習の教育効果を向上させる							
実習形式 第1順目テーマ:電圧安定化(布施川),伝送線路(五十嵐),エネルギー制御(五十嵐),基本増幅回路(佐々木) 第2順目テーマ:フィルターの実験I,II(平井),テスラコイル(市村),デジタル回路(布施川),SPICEシミュレーション (佐々木) 第3順目テーマ:4端子回路(平井),暗号・データ圧縮(大嶋),オペアンプ・発振回路(佐々木),マイコンによる自動制 御実験(松本)										
注意点	- Lui Lui	特になし - L - E へ								
授業の属性・履修上の区分			T							
□ アクティブラーニング			□ ICT 利用 □ 遠隔		□ 遠隔授業対応	<u>,</u>	□ 実務経験のある教員による授業			
+∞₩=±æ										
授業計画	1	週 技				週ごとの到達目植	85			
		i -	(乗り)日 順目テーマ1(1週	周日)		過しこの到廷日信	示			
	1stQ		.順目テーマ1 (2)							
			<u> 順目テーマ2(1週</u>							
			順目テーマ2 (2)							
			順目テーマ3(1週							
			順目テーマ3(2週							
			.順目テーマ4(1週							
\			順目テーマ4(2週							
前期	2ndQ		2順目テーマ1(1週							
		10週 2	2順目テーマ1(2週	周 目)						
		11週 2	2順目テーマ2(1週	周 目)						
		12週 2	2順目テーマ2(2週	週目)						
			2順目テーマ3(1近							
			2順目テーマ3(2週							
			2順目テーマ4(1週	問目)						
		16週								
後期	3rdQ	dQ1週2順目テーマ4(2週目)2週2順目実施実験予備日								

周 3川 周 3川 周 3川 周 3川 周 3川	類目テーマ1 (1週目) 類目テーマ1 (2週目) 類目テーマ2 (1週目) 類目テーマ3 (1週目) 類目テーマ3 (1週目) 類目テーマ3 (2週目)			
周 3川 周 3川 周 3川 周 3川	預目テーマ2(1週目) 預目テーマ2(2週目) 預目テーマ3(1週目) 預目テーマ3(2週目)			
周 3川 周 3川 周 3川	頁目テーマ2(2週目) 頁目テーマ3(1週目) 頁目テーマ3(2週目)			
週 3川 週 3川 週 3川	頁目テーマ3(1週目) 頁目テーマ3(2週目)			
週 3川 3川	頁目テーマ3(2週目)			
週 3川				
	1日テーフ4(1调日)			
ااد ⊞`				
ᆁ	頁目テーマ4(2週目)			
1週 3川	頁目実施実験予備日			
2週 レ	ポートまとめ			
3週 来:	年度実験用準備1			
4週 来:	年度実験用準備2			
5週 来:	年度実験用準備3			
5週				
	レポート(12回)	取組点(確認テスト含む)		合計
	70	30		100
	70	30		100
1: 2: 4: 5:	週 3川 3川 2 2 3川	週 3順目実施実験予備日 週 レポートまとめ 週 来年度実験用準備1 週 来年度実験用準備2 週 来年度実験用準備3	週 3順目実施実験予備日 週 レポートまとめ 週 来年度実験用準備 1 週 来年度実験用準備 2 週 来年度実験用準備 3 週 レポート (12回) 取組点 (確認テンフの 30	週 3順目実施実験予備日 週 レポートまとめ 週 来年度実験用準備1 週 来年度実験用準備3 週 上ポート(12回) 70 取組点(確認テスト含む) 30